

田中英之議員が国会質問

～ 地籍調査の円滑・迅速な実施を！ ～

令和2年3月18日(水)に開催された衆議院国土交通委員会において、田中英之衆議院議員(京都4区)が質問に立ち、地籍調査の効率化に向けた制度整備を強く訴えました。

これは、京都が進捗率ワースト1になっている地籍調査事業の推進を図るため、京都宅建が平成30年に取りまとめた「地籍調査事業の進め方について(提言)」に基づくものです。「官民境界調査を先行実施し、その成果を活用できる制度改革」案を提案したもので、全宅連の令和2年度税制改正及び政策提言の項目にも「地籍調査事業の推進に係る制度の整備」として加えられ、京政連も京都選出の国会議員などに要望活動を行ってきました。

田中氏は、地籍調査を円滑・迅速に実施できるようにすることで、所有者不明土地の発生防止にも繋がるとし、国土交通省と法務省の連携を求めました。

次期国会での審議を経て制度整備が進むことが期待され、京政連も実現に協力してまいります。

